

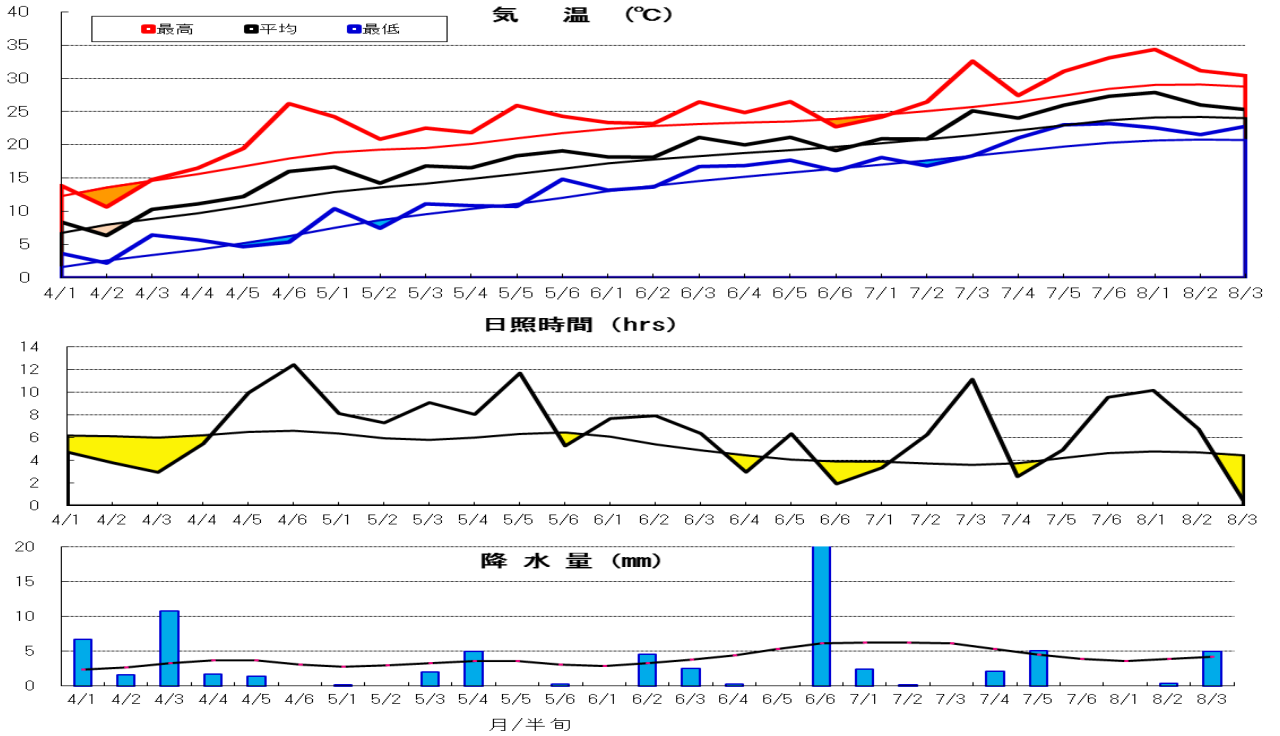
稲作情報 9号

平成 27 年 8 月 14 日
JA 全農みやぎ

= 出穂が早い & 作業計画を早くたて、適期収穫で高品質生産！！ =

刈取期 9月上旬中～

1 気象経過と予想



- ◆記録的な高温・多照・少雨
- ◆7月の平均気温は平年差 2.6°C, 8月上旬 3.6°C高い。
- ◆降水量は, 平年比 7月 30%, 8月上旬 3%と少雨であった。
- ◆日照時間は, 平年比で7月が 160%, 8月上旬 175%と多照となった。

	平均気温 (°C)		降水量の合計 (mm)		日照時間 (時間)	
		平年差		平年比		平年比
7月上旬	21.2	0.6	20.5	34%	44.2	128%
中旬	25.6	3.6	25.5	38%	69.6	198%
下旬	27.2	3.5	8.5	17%	77.3	154%
7月	24.8	2.6	54.5	30%	191.1	160%
8月上旬	28.2	3.6	1.5	3%	92.1	175%

(8月15日から9月14日の予想)

仙台管区气象台 H27. 8. 13 発表

[1か月と週の天候]

- ・平年に比べ晴れの日が多い。平均気温は, 高い確率 60%
- ・降水量は, 平年並みまたは多い確率 40%, 日照時間は, 平年並みまたは多い確率 40%
- ・1週目は, 平年並の確率 50%, 2週目は, 高い確率 60%, 3～4週目は, 高い確率 50%

◆週別気温経過の確率(%)

【気温】東北地方



【降水量】東北地方



【日照時間】東北地方



■ 低 ■ 並 ■ 高

2 出穂状況

地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稲作付 見込面積 (ha)	8月10日現在出穂状況			進行月日			(参考)平成26年度		
		出穂面積 (ha)	進行率 (%)	出穂 始期	出穂期	穂揃期	出穂 始期	出穂期	穂揃期	
大河原	6,795	6,699	98.6	7/25	7/29	8/6	7/30	8/2	8/8	
仙台	12,320	12,009	97.5	7/26	7/30	8/8	7/30	8/4	8/9	
大崎	18,285	18,115	99.1	7/25	7/29	8/5	7/29	8/1	8/5	
栗原	8,998	8,961	99.6	7/26	7/28	8/8	8/1	8/3	8/7	
登米	9,887	9,690	98.0	7/28	7/30	8/4	7/30	8/1	8/6	
石巻	7,449	7,422	99.6	7/25	7/29	8/4	7/29	7/31	8/6	
気仙沼	928	903	97.3	7/29	8/2	8/8	8/2	8/5	8/9	
県計	64,662	63,799	98.7	7/26	7/29	8/7	7/30	8/2	8/8	

区分	出穂始期(5%)	出穂期(50%)	穂揃期(95%)
本年	7月26日	7月29日	8月7日
前年	7月30日	8月2日	8月8日
平年	8月3日	8月6日	8月12日
平年差	8日早い	8日早い	5日早い

◆出穂期は、これまでに最も早い7月29日(▲8日)となった。

◆8月10日現在98.7%で穂揃期は8月7日となった。



【直播栽培】8月13日現在

- ・直播栽培については、出穂期から穂揃期となっている。
- ・m²当茎数は、バラツキは大きいやや過剰気味である。
- ・移植に比較して生育が遅れているため、葉色は濃い。



石巻直播 8/13 (加ハ-)

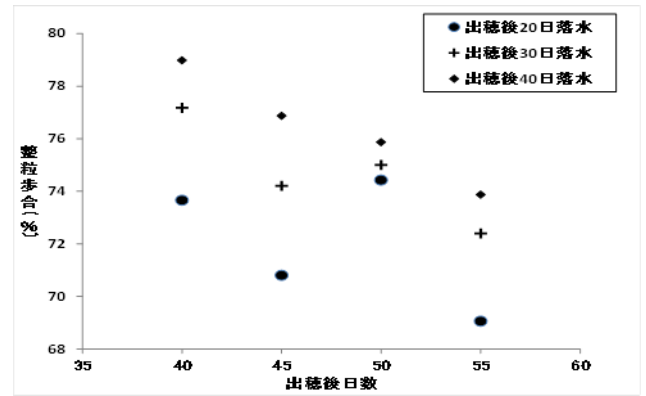


大郷直播 8/13 (鉄コ)

3 適期刈取と管理

(1) 落水時期

- ◆落水が早いと品質に悪影響を及ぼすので、出穂後 30 日を目安とする。
- ◆直播栽培は、生育ステージが遅れるので移植より長い期間まで用水を確保する。
- ◆天候の経過に留意した水管理の徹底



(2) 積算気温

地区	丸森	古川
出穂期	7月29日	7月29日
刈取り日	積算気温	
9月6日	951.1	947.4
9月7日	972.7	968.9
9月8日	994.1	990.2
9月9日	1015.2	1011.2
9月10日	1036.1	1032.0
9月11日	1056.8	1052.6
9月12日	1077.3	1073.0
9月13日	1097.6	1093.2

7月29日出穂では、「ひとめぼれ」積算気温からの刈取期間は

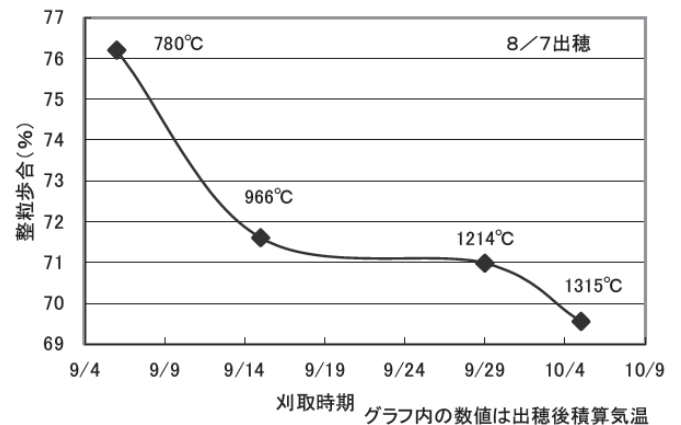
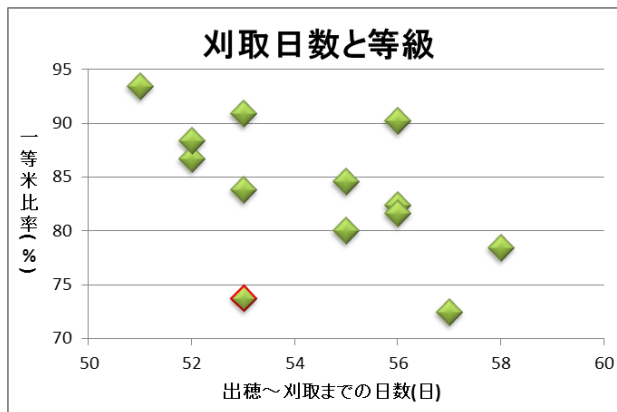
9月6日~13日

(今後の気温で変動する。)

※「ひとめぼれ」の積算気温は 940℃~1100℃

- ◆刈り取りは、圃場毎に判断し、籾や枝梗の熟色や水分等を勘案して総合的に決定する。
- ◆過去のデータでは、出穂最盛期から刈取までの日数が長いと等級が低下する傾向にあり、

『適期刈取』が最も重要である。



刈取時期と整粒歩合の関係